

テーマ No. 5

タイトル：親しみのあるマルチモーダル対話システムの構築と評価

伊藤（彰）・能勢研究室

現在、スマートスピーカーやパーソナルアシスタントなど、多くのデバイスに音声対話システムが導入されています。対話型システムが今よりももっと身近な存在になり、人間と共生する社会を実現するためには、会話内容だけでなく表情やジェスチャといった多様なモダリティを駆使することで、ユーザの感情や興味、自身との関係性など、会話の状況を的確に理解する技術の開発が必要です。

近年の対話型システムにはユーザと雑談が行えるものが多くありますが、その多くが画一的な応対を行うため、利用しているうちにユーザが飽きてしまうという問題があります。対話型システムがより社会に受け入れられるためには、会話によるユーザとの関係の変化を認識し、最後には友人のようにふるまうことが有用です。本研修では、人間同士の会話を収録したマルチモーダル雑談コーパスを分析し、対話型システムがユーザと友好関係を築くのに有用な対話行動を明らかにするとともに、実際に対話システムを構築することでその有効性を評価することを目標とします。